

島根県感染症情報(週報) 2006年 第45週 (11/6~11/12)

県内感染症情報(概況)

1)全数報告感染症(1~5類感染症)

今週の報告はありませんでした。

2)定点報告5類感染症

- 感染性胃腸炎 : 例年より早く全県で規模の大きな流行が起こっています。今後も更に拡大すると思われるので、手洗い等の感染予防に気をつけてください。
- A群溶連菌咽頭炎 : 徐々に患者報告患者数が増加してきています。うがい等の感染予防に気をつけてください。
- 手足口病 : 数週間小流行が続いています。東部の報告数が増加してきました。
- 咽頭結膜熱 : 現在の報告数は少ないですが、例年冬季にも流行しますので注意する必要があります。
- 水痘 : 徐々に患者報告数が増加してきています。例年年末にかけ流行しますので、今後さらに増加する見込みです。
- 流行性耳下腺炎 : 例年と比較して規模の大きな流行が県内全域で起こっており、全国と比べても高いレベルにあります。

3)主な病原体の分離状況等

西部の手足口病からエンテロウイルス71型が分離されています。流行中の感染性胃腸炎患者からはノロウイルス(GI,GII)、腸管アデノウイルスが検出されています。咽頭結膜熱からアデノウイルス2型、無菌性髄膜炎からはエコー30型ウイルスが分離されています。

主な感染症の流行状況

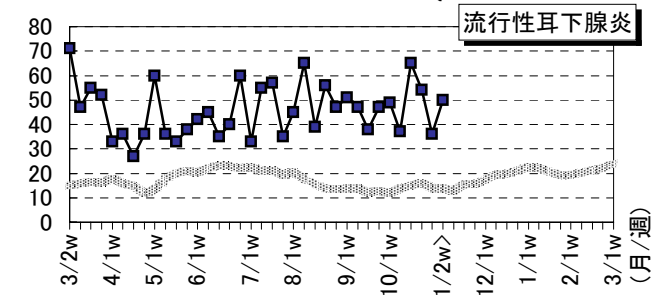
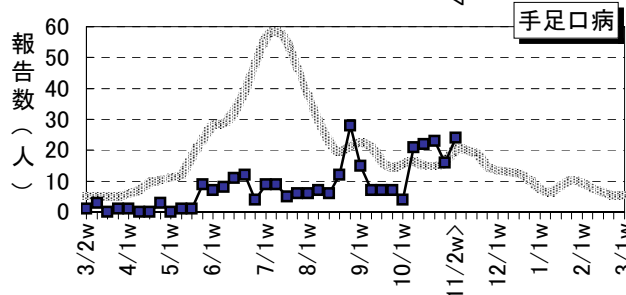
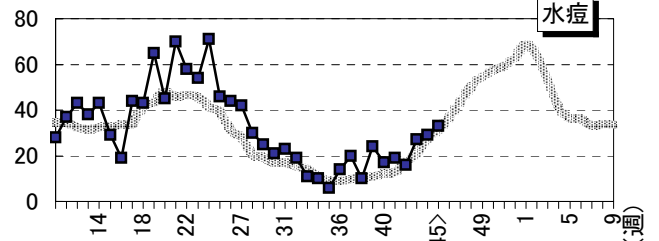
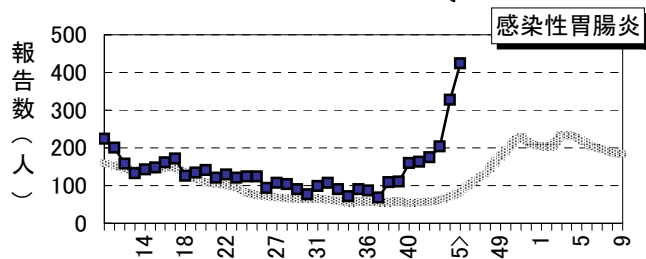
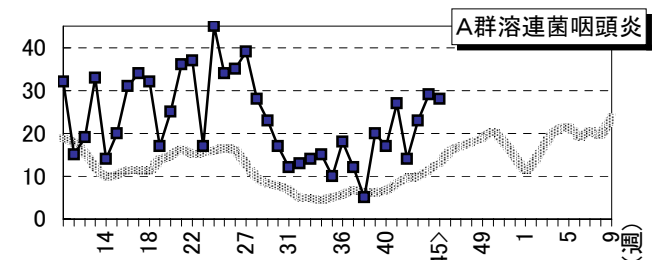
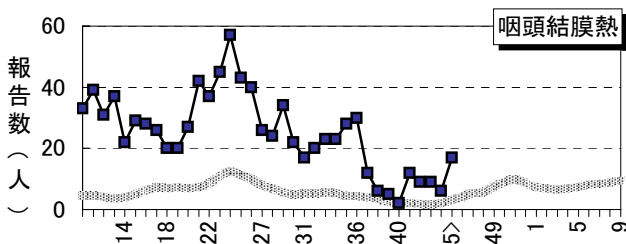
疾患名	全県	東部	中部	西部
咽頭結膜熱	→ ○	→ ○	→ ○	→ △
A群溶連菌咽頭炎	→ ○	↗ ◎	→ ○	→ △
感染性胃腸炎	↗ ◎	↗ ◎	→ ◎	↗ ◎
水痘	→ ○	→ ○	↗ ○	→ △
手足口病	→ ○	↗ ○	→ ○	→ △
流行性耳下腺炎	→ ◎	→ ○	→ ◎	→ ○

今週の流行状況の記号

- ◎ 流行している ○ やや流行している
- △ 散 発 × 患者報告なし

過去4週の流行の推移

- ↑ 急 増 ↓ 減少傾向
- ↗ 増加傾向 ↓ 急 減
- 横這い ・ 報告なし



※地区別等の詳しいグラフはホームページをご覧ください。

..... 過去5年の平均 —■— 島根県

2006(平成18)年 11月15日
 島根県保健環境科学研究所
 島根県感染症情報センター
 Tel:0852-36-8188
 Fax:0852-36-8356
 www2.pref.shimane.jp/hokanken/kansen/
 kansen @ pref.shimane.lg.jp

